


VHF/UHF FM トランシーバー

取扱説明書 CTCSS/DCS

このたびは弊社トランシーバーをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読み
のうえ、正しくご使用ください。お読みにな
った後は、大切に保管していただき、その都
度ご参照ください。

安全上のご注意

使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくため、守っていただきたい注意事項を示しています。

 破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になりますので、次の事項を守ってください。

- ・ 分解や改造をしないでください。
- ・ 直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。
- ・ ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
- ・ 電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。
- ・ 引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。
- ・ ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
- ・ ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- ・ 商品に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また、水にぬれたときは、使用しないでください。
- ・ ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
- ・ 充電器に指定以外のACアダプターを接続しないでください。
- ・ 付属以外のバッテリーパックを充電しないでください。
- ・ 付属以外の充電器を使用しないでください。
- ・ 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。

商品の特長

- ・ 高照度懐中電灯機能
- ・ 高性能リチウムイオンバッテリー
- ・ 緊急警報通知
- ・ FMラジオ、警報通知受信
- ・ 省バッテリーVOX、CTCSS、DCS
- ・ 低ノイズ回路
- ・ 周波数帯変換器（スクランブラー）
- ・ 英語、中国語のヒューマニズムデザイン機能によるコマンドナンバーのレポート

目次

・安全上のご注意	1
・製品の特長	1
・開梱、備品の確認	2
・同梱物／付属品	2
・リチウムイオンバッテリーパックの充電	3
・バッテリーパックの取付け、取外し	4
・アンテナの取付け	5
・ベルトクリップの取付け	5
・スピーカー・マイクの取付け	5
・各部の名称と機能	6
・操作方法	7
・追加機能	8
・仕様	11
・トラブルシューティング	11

開梱と確認

製品がお手元に届きましたら、内容通り入っているか
中身を確認してください。
万一破損、欠品等がございましたら販売店にご連絡ください。

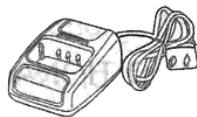
同梱物／付属品



アンテナ×1



ストラップ×1



充電器×1



バッテリー×1



ベルトクリップ×1

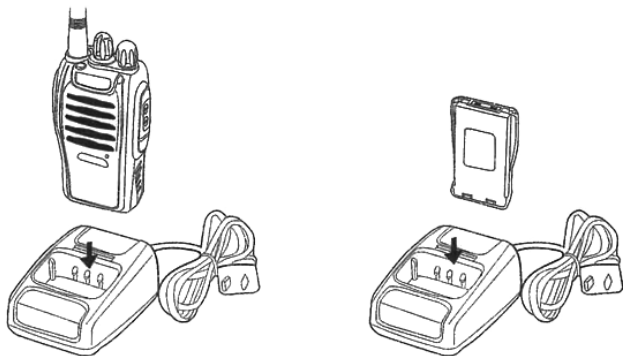


取扱説明書×1

リチウムイオンバッテリーパックの充電方法

お買い上げいただいたときや2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。

- 1) アダプターを電気コンセントに差し込みます。
- 2) トランシーバーおよびバッテリーを充電器に正しく差し込みます。
- 3) バッテリーと充電器が正しく接続されていることを確認してください。
充電中は、ライトは赤く光ります。
- 4) 3時間充電すると、ライトが緑色に点灯します。
フル充電後、充電器からバッテリーまたはトランシーバー本体を取り外してください。



ご注意：

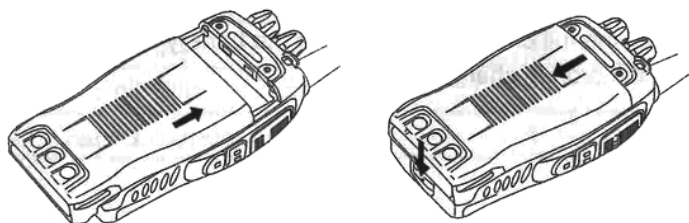
フル充電されている電池パックは再充電しないでください。

フル充電されている電池パックを再充電しますと、寿命が短くなったり、破損したりすることがあります。

電池パックの取り付け/取り外し

電池パックの持続時間は、
常温常湿（標準、送信:5 受信:5 スタンバイ:90:の割合）で8時間です。

下図を参照ください。



ご注意:

電池の端子をショートさせたり、電池を火の中に投げ入れたりしないでください。電池パックは分解しないでください。

アンテナの取り付け

アンテナ下部を持ち、トランシーバー上部のコネクタに時計方向に固定されるまで回して確実に取り付けます。

ご注意：

本アンテナはハンドル、キーリングリテーナ、スピーカー、マイク接続点ではありません。これらの用途で本アンテナを使用しますとトランシーバーを損傷し、機能が低下する恐れがあります。

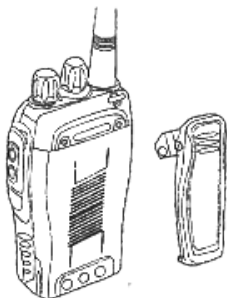


ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを本体背面の取り付け位置へカチッと音がするまでしっかりと取り付けてください。

ご注意：

ベルトクリップが取り付けられていない場合、連続使用や高温の環境により、取り付け部分が熱をもつ可能性があります。

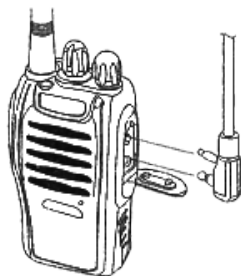


イヤホンマイクの取り付け

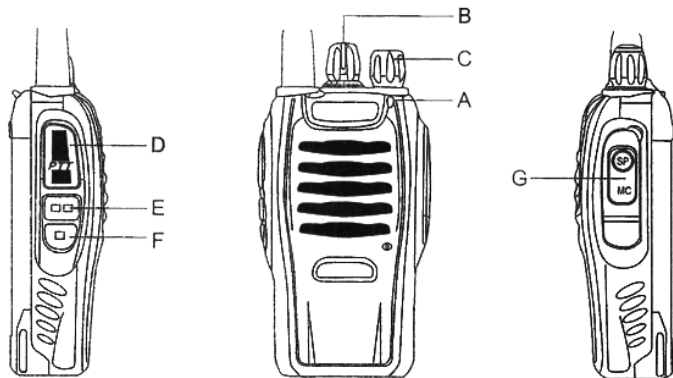
イヤホンマイクのプラグをトランシーバー側の各ジャックに接続します。

ご注意：

本トランシーバーはスピーカーおよびマイクの使用時、完全な耐水性はありません。



各部の名称と機能



A: LEDインジケータ

送信時、常時赤く点灯します。受信時には緑色に点灯します。

B: チャンネル切替

まわしてチャンネルを選択します。16番チャンネルはスキヤニングチャンネルです。

C: 電源スイッチ／音調調節

時計回りに回してトランシーバーの電源をONにします。反時計回りいっぱい回してトランシーバーの電源をOFFにします。

D: PTT(プッシュトーク)ボタン

マイクに話しかけてステーションを呼び出す際に押します。手を離すと相手の通話を受信します。

E: モニターボタン

長押しして(スケルチOFF)周囲ノイズを聞き取ります。手を離すと通常動作に戻ります。

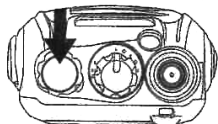
F: ファンクションキー

タッチ機能を起動する際に押します。

G: スピーカー／マイクジャック

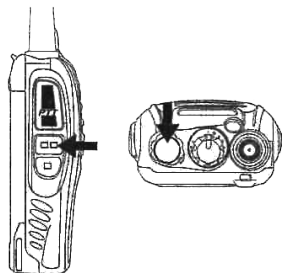
操作方法

電源切替ON / OFF



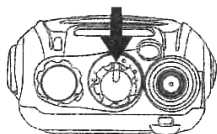
電源スイッチ／音量調節を時計回りに回します。ピー音が鳴りましたら、トランシーバーがオンになっていることを示します。

音量調節



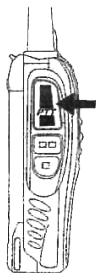
モニターボタンを押し下げ、電源切替／音量調節を回しながらオーディオレベルを聞きます。時計回りに回すと音量が上がり、反時計回りに回すと音量が下がります。

チャンネルの選択



チャンネル切替を回して、希望のチャンネルを選択します。NO. 16はスキャンチャンネルです。

送信



送信するには、[PTT]を押し続けながら、通常の音量でマイクに向かって話してください。送信中はLEDインジケーターが常時赤く点灯します。受信側に明瞭に送信するには、マイクは口元から3～4インチほど離して持ち、通常の音量で話します。

追加機能

- ・ スケルチレベル
スケルチとは、信号がないときにスピーカーをミュートすることです（スケルチオフ）。スケルチレベルを正しく設定すると、実際に信号を受信している間だけ音が聞こえます（スケルチオン）。スケルチレベルはプログラムソフトウェアを介して調整できます。
- ・ タイムアウトタイマー（TOT）
タイムアウトタイマーは、発信者がチャンネルを長期間使用して熱損傷を引き起こすのを防ぐことができる機能です。内蔵するタイムアウトタイマーは、各送信を特定時間に制限します。設定した送信時間を延長すると、警告音が鳴ります。
- ・ スキャン
スキャンは、通話が行われているチャンネルをモニターできる機能です。トランシーバーがソフトウェアを介してスキャン設定時、チャンネル16に切り替えると、トランシーバーは1～15のチャンネルのアクティビティを自動的に検出します（異なるチャンネルを設定できます）。
 - 1) トランシーバーは受診チャンネルが検出されるとスキャンを停止します。
 - 2) チャンネル数が2つ以下の場合、スキャンできません。
 - 3) 16チャンネルにおいては、PTTおよびMONIキーを押すと、スキャンのオンオフができます。
 - 4) FMラジオ機能がオンの場合、スキャンはできません。
- ・ VOICE PROMPT
Voice Prompt ON / OFFはソフトウェアで設定できます。10チャンネルでは、PTTおよびMONIキーを押してから、トランシーバーの電源をオンにすると、音声プロンプトをキャンセルまたは有効化できます。15チャンネルでは、PTTおよびMONIキーを押してから、トランシーバーの電源をオンにすると、さまざまな言語による音声プロンプトを選択することができます。

- ・ VOX (Voice Operated Transmission)
VOX機能を使用すると、送信のたびに手動で送信モードに切り替える必要がなくなります。本製品は、お客様がマイクに向かって話し始めたことをVOX回路が感知すると、自動的に送信モードに切り替わります。
 - 1) VOX機能进行操作するときは、トランシーバーが音声認識できるVOXゲインレベルを設定していることを確認してください。
 - 2) マイクの感度が高すぎると、周囲のノイズを感知して送信を開始してしまいます。
 - 3) マイクの感度が十分でない場合は、お客様の声を拾いません。VOXゲインレベルを確認して適切な感度に調整し、スムーズな送信を行ってください。1-5チャンネルでは、MONIとPTTキーを押してから、トランシーバーの電源をオンにすると、VOX機能のオン/オフが有効になります。

- ・ 緊急警報チャンネル
チャンネル11で、PTTとMONIキーを押してから、トランシーバーをオンに切り替えて、緊急警報機能オン/オフが有効になります。プログラムソフトウェアで設定することもできます。機能がオフの場合、他のトランシーバーは、信号を受信してもアラームを発することはできません。

- ・ バッテリーセーバー
バッテリーセーバー機能は、信号が受信されておらず、何も操作されていないとき（キーが押されていないとき、スイッチが切替られないとき）に使用電力量を減す機能です。チャンネルが込みっておらず、10秒以上何も操作されないと、バッテリーセーバーはオンになります。何らかの信号を受信するか操作が実行されると、バッテリーセーバーはオフになります。

- ・ バッテリー残量低下アラート
バッテリー残量低下アラートは、充電を通知する機能です。バッテリー残量が非常に少なくなると、アラートが鳴ります。LEDインジケータが赤色点滅します。バッテリーパックを再充電または交換してください。

- ・モニター
受信しているのに信号がない場合、スケルチ機能によってスピーカーがミュートされ、周囲ノイズが聞こえない状態です。スケルチ機能をOFFに切り替えたい場合、[MONI] ボタンを長押しします。音量レベルを調整したり、弱い信号を受信したりする場合に非常に便利な機能です。
- ・ビジーチャンネルロックアウト (BCL)
ビジーチャンネルロックアウト機能は、すべてのチャンネルのプログラムソフトウェアでオン／オフできます。BCLを有効にすると、同じチャンネルを使用している可能性のある他のユーザーに干渉するのを防ぎます。チャンネル使用中にPTT スイッチを押すとアラートトーンを発生し、送信ができません。PTT スイッチから手を離すと、アラートが停止し、受信モードに戻ります。
- ・CTCSS / DCS
CTCSS (Continuous Tone Coded Squelch System) /
DCS (Digital Coded Squelch)
特定の人やグループからのみ受信したい場合、選択呼び出しを使用し、同じ周波数を使用しているほかの人からの不要な呼び出しを無視することができます。CTCSSまたはDCSは39または83トーン周波数の間からサブバンドを選択できます。
ご注意：
CTCSS/DCSでの会話は、非公開化、暗号化することはできません。

主な仕様

- ・ 受信周波数 400～470MHz
- ・ RF定格電力 ≤5W
- ・ チャンネル数 16
- ・ 動作電圧 3.7V
- ・ 外径寸法 115mm×60mm×33mm
- ・ 重量 150g

ご注意：

本仕様は、予告なしに変更される場合があります。

故障かなと思ったら

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の内容をお確かめください。

症状	処置
電源が入らない	バッテリーの取付を確認、またはバッテリーを交換してください。バッテリーが消耗している可能性もあります。バッテリーの寿命がきたら新しいものに交換してください。
通話ができない	チャンネル周波数、使用している製品が他のメンバーと同じものか確認してください。同じであればグループの入っている無線範囲を確認してください。
他グループの音声が聞こえる	チャンネル周波数の変更をしてください。同時にグループ内の変更も必要です。
音声が途切れる	マイク部分が何かで遮られていないか確認してください。もしくは、スケルチの設定が高い場合がありますので、設定を調整してください。
自動で電源が切れてしまう。	本体とバッテリー本体の接点を確認してください。

製品保証書

ブランド		
品番		
製造番号		
お買上日		
保証期間		
お客様様	ご住所	〒 電話
	お名前	(ふりがな) ----- 様

保証備考：

本製品使用者は本保証書を修理保証書として保管してください。

本保証書の有効期限は印日のおりです。

本保証書は改ざんしてはいけません。

保証書番号は機械番号が一致していることを確認してください。

一致していない場合は無効です。

充電器、バッテリー、イヤホン、アンテナ、プログラムケーブルなどの付属品は本保証の対象外です。不良品は保証期限内の一年間、販売店が修理交換いたします。



Total Office Network

〒810-0022

福岡県福岡市中央区薬院3-14-24 TON本社ビル

092-534-1115